

YES JAPAN 体験談

浅田泰輔

慶應義塾大学理工学部4年

(写真、向かって右側が本人)

YES JAPAN2007に参加



【参加動機】YES 2007に応募したのは、国際的な体験を積んで視野を拓けたかったから、そして英語を勉強するのではなく、英語で海外の学生と共に学びたいと思ったからです。

【YESの魅力】

- ・人材の多様性：約25カ国から参加者が集まり、しかも持続的発展に関心を持った様々なバックグラウンド（環境・理工・経済・経営など）の学生が集まります。
- ・高密度体験：2週間の間、寮で寝食を共にします。仲間と深く付き合うことができるのがYESの特長です。日中は綿密に用意されたカリキュラムに真剣に取り組み、夜は卓球やフットサルをしたり、ロビーで熱く語り合ったりすることもできます。私もキャリアや夢について毎晩のようにルームメイトと語りました。

【印象的なプログラム】

- ・lectures：スイス連邦工科大学やMITなどの海外の一流大学の教授陣が生徒を惹きつけます。生徒からも頻繁に質問が出て、インタラクティブです。このような活気ある授業は日本では滅多に受けられないでしょう。
- ・cultural night & dance night：学会と違い議論だけではなく、それぞれ自国文化の紹介をします。僕は日本の文化である剣道を披露しました。様々な文化が一堂に集まる不思議な感覚です。距離がグッと縮まりました。
- ・last presentation：議論を重ねて、2週間の成果であるチーム毎の政策提案プレゼンテーションを行いました。準備時間が少ないというプレッシャーの下でのグローバルなチームでの取り組みの際には、国民性の違いや言語の壁によって不満を感じたり、同時に自分がチームに何をどのくらいもたらしているのかを常に意識させられました。プレゼン終了後には初日より遥かに話せるようになっている自分に気づき、成長を実感できました。

【アドバイス】YES 2007に参加していなければ、経営戦略や政策に関心を持つことも、「世界から見た日本」に強い興味も持つこともなかっただろうと思います。どれだけ日本のことを知らないか、どれだけ自分がジャパニーズ・スタンダードで考えているかについて気付きました。深く自分自身を見つめる最高の教育の場であると思います。

しかし何よりの財産は、世界の持続的発展を真剣に考える、心温かく責任感の強い仲間たちとの出会いです。一生の財産です。是非、人生の損をしない為にも、YESの扉を積極的に叩いてみて下さい。

(2008年12月)

